

質問書に対する回答

(工事名) 横浜環状南線 釜利谷ジャンクションHランプ第二トンネル工事

番号	質問箇所	質問事項	回 答
1	交付図書 a_金抜設計書等	交付図書の中に数量明細書がありませんが、a_金抜設計書（設計数量）について内訳がわかる数量明細書等について公表していただけないでしょうか。	本工事の工事数量については、設計図書及び貸与用電子媒体に格納されている設計業務成果品等に基づき、貴社において算出ください。
2	特記仕様書 P58 28-26-3 (3) 稼働率による補正	特記仕様書 P58、28-26-3 (3) 稼働率による補正に、「4 週 8 休以上の機械経費（損料）に用いる月平均標準運転日及び月平均休止日数、標準稼働率は次表のとおりとし、土木工事積算基準による算定との差額を補正額とする。①土木工事積算基準 第 7 編土工【A 地区】」と示されておりますが、【A 地区】はどの単価項目に適用するのでしょうか。	特記仕様書に記載されているとおり、「土木工事積算基準 第 7 編 土工」の関連項目全てに適用されます。
3	特記仕様書 P1 2. 適用する共通仕様書	①＜契約書第一条に規定する「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という）は、令和 2 年 10 月版とする。＞と記述されております。 ②令和 3 年 7 月に「共通仕様書の改定」「積算基準の改定」「土木工事等単価ファイルの公表」が成されております。 ③当該工事に適用される「土木工事共通仕様書」「土木工事積算基準」「土木工事等単価ファイル」の採用される年度月をご教示願います。	特記仕様書に記載されているとおり、土木工事共通仕様書は令和 2 年 1 0 月版を適用します。 なお、積算に関する事項については、お答えできません。